

社会資本総合整備計画 事後評価書													令和03年05月10日			
計画の名称	野田市宅地耐震化推進事業（防災・安全）															
計画の期間	令和02年度 ～ 令和02年度（1年間）											重点配分対象の該当		○		
交付対象	野田市															
計画の目標	大規模盛土造成地を把握し公表したマップに基づき、箇所ごとの優先度を評価し計画的に進めるための第二次スクリーニング計画を作成し、市の総合的な防災対策の推進を図る。															
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		5	A	5	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R2末
1	第一次スクリーニング（盛土マップ作成）に基づき、第二次スクリーニング計画（既往資料及び現地踏査により優先度評価）を作成する。 第二次スクリーニング計画を作成する。	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	野田市	直接	野田市	－	－	大規模盛土造成地の変動 予測調査（野田市）	第二次スクリーニング計画の 作成（３３箇所）	野田市	■					5		－
											小計						5		
											合計						5		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

社会資本総合整備計画の事後評価として野田市で実施

事後評価の実施時期

令和3年5月

公表の方法

野田市のホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

第一次スクリーニングで抽出された大規模盛土造成地（33箇所）について、第二次スクリーニング計画を作成したことにより、第二次スクリーニングを実施する優先度の高い箇所を抽出することができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

第二次スクリーニング計画に基づき、第二次スクリーニングを実施する。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	第一次スクリーニング（盛土マップ作成）に基づき、第二次スクリーニング計画（既往資料及び現地踏査により優先度評価）を作成する。		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	